

令和2年度 俳句部門入選作品一覧

☆最優秀賞 1句

「リモートの環境講座地虫出づ」
阿部 花山 (中里協和会)

最優秀作品の情景等

新型コロナウイルスの流行による緊急事態宣言のため、自粛生活をしている様子です。リモートによる会議や講座が多くなりました。そんな現在の状況を見つめて俳句に詠んでいます。

自分は部屋のなかにはいるのですが、蟻などの虫たちは穴を出て動き出しているというのです。この取り合わせで詩になりました。

「地虫出づ」は、三月五日の啓蟄のころ、暖かくなって地中に眠っていた虫が巣穴から出てくることで、春の季語です。

(公益社団法人) 俳人協会評議員 朝日カルチャーセンター講師
石冨 岳

◎優秀賞 5句 順不同

「人の手を借りて我が家の煤払い」
井上 美代子 (田端新町二丁目自治会)

「山人よゴミ持ち帰るみどりの日」
高内 信夫 (十条仲原一丁目町会)

「梅咲いて笑顔の人とすれ違おう」
町田 延子 (東十条五丁目町会)

「黄落や黄色い絨毯地に敷きて」
鈴木 美知子 (岸町二丁目町会)

「話が弾んで団地の草むしり」
遠藤 征子 (尾長橋住宅自治会)

○佳 作 5句 順不同

セイソウビ ツド ヒト ワハル
「清掃日の集う人の輪春うらら」

大場 弘子 (王子本町自治会)

コウラクチオウカランマン カ
「行楽地桜花爛漫コロナ禍に」

鈴木 勸 (岸町二丁目町会)

セイソウシャ マチカドトシ ク
「清掃車止まる街角年の暮れ」

八木 晴江 (中十条三丁目町会)

イチョウチ チイキセイソウカネ オト
「银杏散る地域清掃鐘の音」

八木 罔彦 (中十条三丁目町会)

イロ ト アシ
「さまざまな色のマスクや止まる足」

山下 茂 (諏訪自治会)

作品を他で使用しないでください